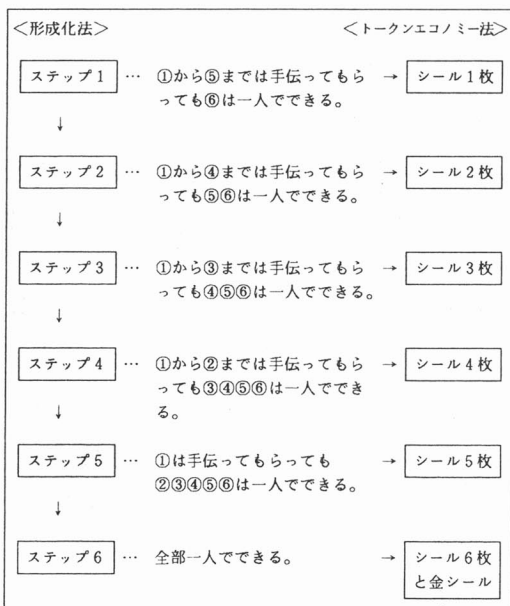
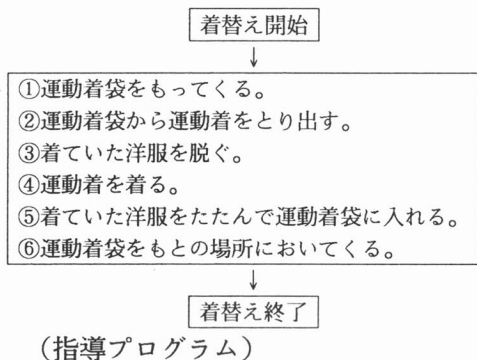


の行動について学級の中で賞賛や激励をしM男が学級内で認められ受け入れられるように指導援助していく。

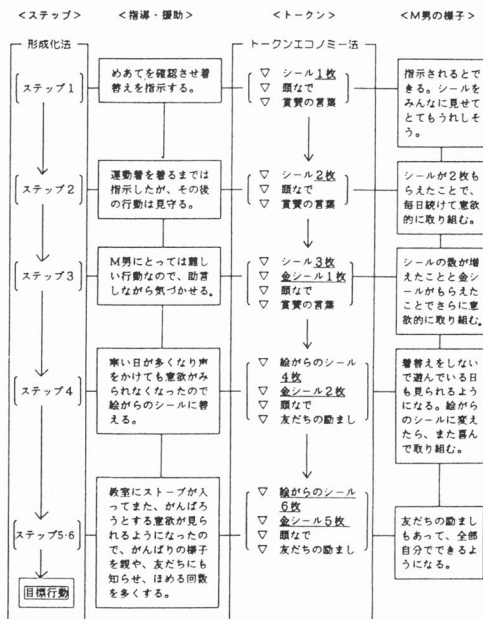
- (4) 「連絡ノート」を通して、改善された行動の様子を知らせたり、その行動が定着するよう家庭への啓蒙を図ったりなど、家庭との連携を深めていくように努める。

〔運動着の着替えの指導プログラム〕
(着替えの順序)



目標行動……運動着を正しく着て、脱いだ洋服の後片付けをする。

6. 指導援助の経過



7. 指導援助の結果と考察

- (1) 「Mちゃんがんばりノート」から

- 着替えに無関心であったM男に対してめあてを記入させたり、認めシールを貼らせたりしたことは、着替えの行動を意識させるのに有効であった。
- めあてが達成された時にシールや頭などで言葉かけの報酬を与えて認め、ほめたことによって着替えに意欲的に取り組む姿が見られた。また、途中で意欲が見られなくなった時、シールを絵がらシールにするなど刺激を変えることによって意欲を持続させることができた。このことから、行動変容の進み具合に応じて刺激を修正していく必要があることがわかった。

- (2) 形成化法とトークンエコノミー法による指導結果から

- めあてをわかりやすくして、6つの行動ステップを一步一步達成させながら目